

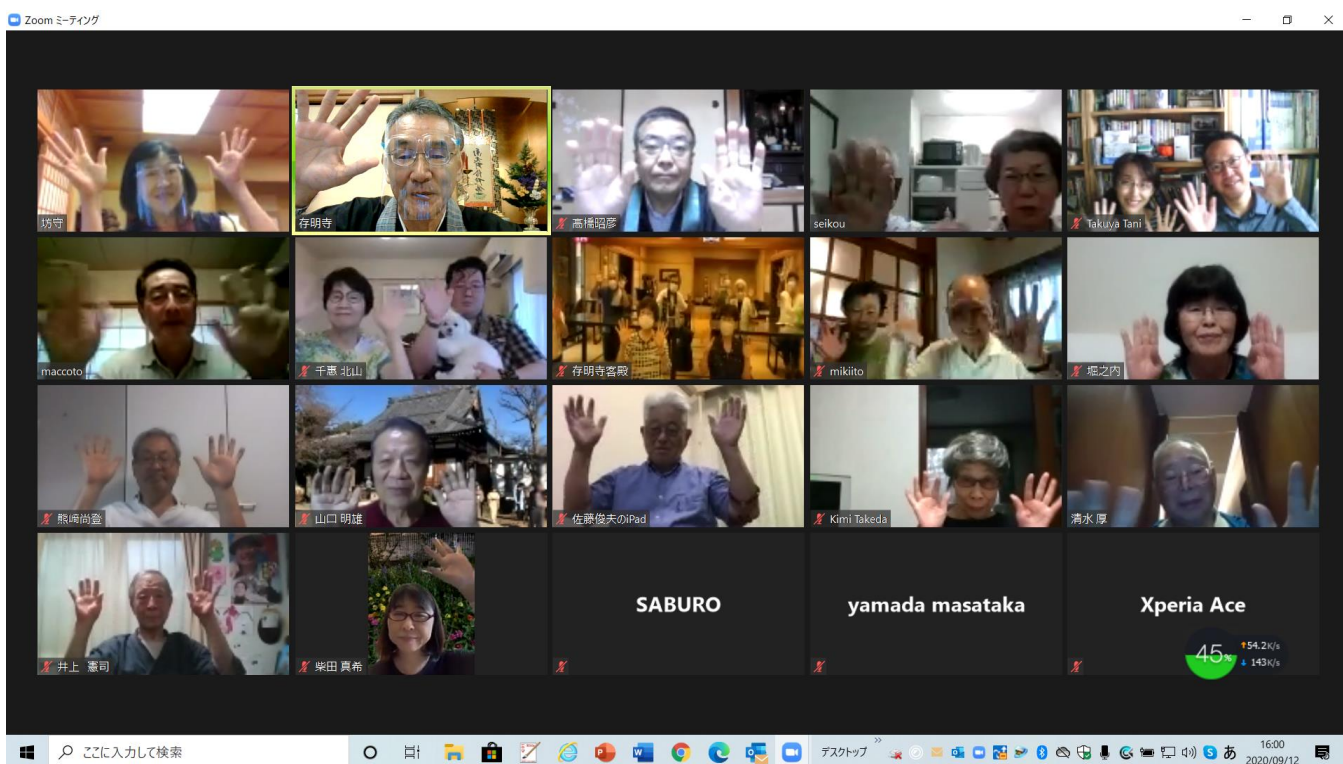
真宗大谷派 存明寺通信

NO.198

2020年(仏歴2551年)9月19日発行

はじめてやってみました。

オンライン樹心(じゅしん)の会 (法話会)



★初めてのオンライン樹心の会 当日の様子

- と き** 2020年9月12日(土) 14時～16時
- 14:00～14:20 開会(真宗宗歌・勤行(嘆仏偈)・佐藤総代挨拶)
- 14:20～14:50 お話(酒井義一住職)
- 15:00～15:50 私のひとことタイム 司会:藤井総代
- 15:50～16:00 閉会(お知らせ・浩美坊守挨拶・恩徳讃)

お 話 酒井義一住職&参加者有志

参 加 オンラインZOOMにて26名 存明寺に生参加11名 合計37名参加

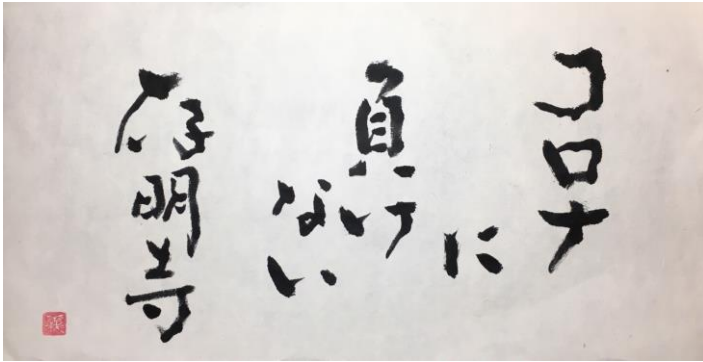
★次回もやります オンライン樹心の会(ご案内) ※メールにてお申し込みください。

と き 2020年10月10日(土) 14時～16時

お 話 酒井義一住職&参加者有志

会 場 オンラインZOOMにて または存明寺に生参加(10名程度)

私を照らすひかりの言葉



【呼びかけ文】

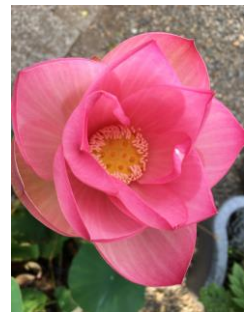
今年の2月からお寺の活動はほぼ中止をしています。「いつまで続くのだろう」「いつ再開できるのだろう」。まったく先が見えない状況が続いています。

だけど…このままじっとしてはられない！孤独や不安が広がるこのような時だからこそ、浄土真宗の教えや言葉に触れるひとときを、開きたい。

そんな思いを胸に、とりあえずオンラインZOOMにて「樹心の会」を再開してみようと思えます。この試み、はたしてうまくいくのでしょうか???

皆様のオンラインでのご参加をお待ちしております。

（2020年9月1日 住職）



私を照らすひかりの言葉

酒井義一（存明寺住職）

コロナとの生活が続く中、いくつもの大切な言葉との出遇いがありました。今から4つの言葉を一緒に味わってみたいと思います。

人類にはその邪悪なウイルスに對抗できる免疫が確かに備わっている。邪悪なウイルスとは新型コロナウイルスではない。差別や偏見というウイルスである。（中日春秋20・2・2より）

コロナウイルスの蔓延と同じく、感染者に対する偏見や差別も世界に蔓延しました。ウイルスは中国武漢からやってきたと言われている

ますが、偏見・差別は武漢発ではありません。コロナを縁にして私たちの中から出てきたものです。あらためて見つめてみたいと思います。今私たちは差別や偏見というウイルスに感染してはいないでしょうか。最初のこの言葉は、あなたよ、偏見・差別への免疫をこそ獲得せよという呼びかけの言葉として私に響いてきます。

ウイルスは 人を傷つけ
生きのびる 私もです

ウイルスと細菌は違うのだそうです。細菌は独自で繁殖することができます。しかし、ウイルスは誰かに依存しなければ生き延びることができないのだそうです。そして時に重症化し、時に死に至らしめる。ウイルスのそのようすがたに、なんと自分のすがたを見ているのです。自分さえよければいいというウイルスに感染してはいないか。他者の痛みに関心になっではないか、と。コロナを縁にして、自分のすがたを振り返ることは、とても大切なことではないでしょうか。

つらく苦しいことは
不幸なことではなく
それを通してのみ
見えてくる世界がある(伊藤元)

これは存明寺の報恩講にて伊藤元先生が語られた言葉です。このところ繰り返し読んでいます。世の中にはつらくて苦しい状況がたくさんあります。不幸と考える状況が続いています。しかし、それは不幸なことではなく、それらを通してのみ、人は新しい世界に出会うことができるのだというのです。新しい世界に出会う道を共に歩む。それがコロナという時代を生きる私たちに与えられた大きな課題なのではないでしょうか。

仏さまのころとは
えらばずきらわず見すてず
というころ(竹中智秀)

京都の親鸞聖人の教えを学ぶ学校の先生の言葉です。人をえらび、きらい、見すてていくことが今世の中にはたくさん起こっています。そのような世の中だからこそ、人

をえらばず、きらわず、見すてずという心、つまり仏さまの「撰取不捨」(おさめとって、すてず)の心に出会ってほしい。私たちはそう願われているのではないのでしょうか。

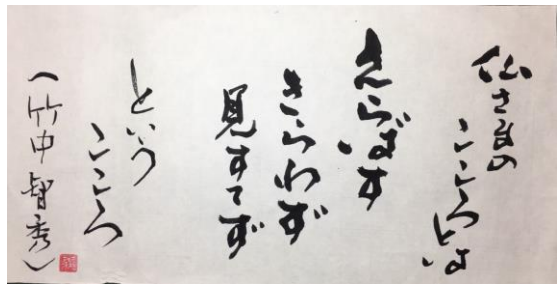
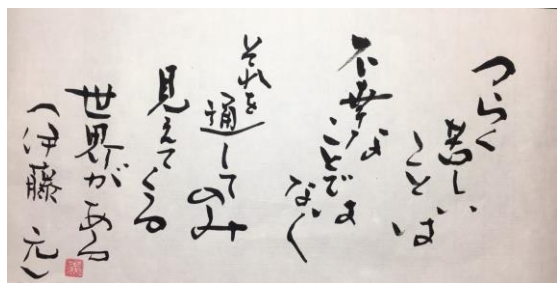
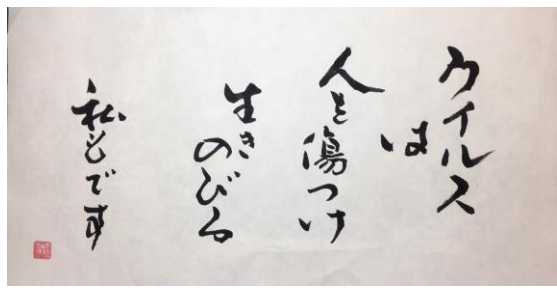
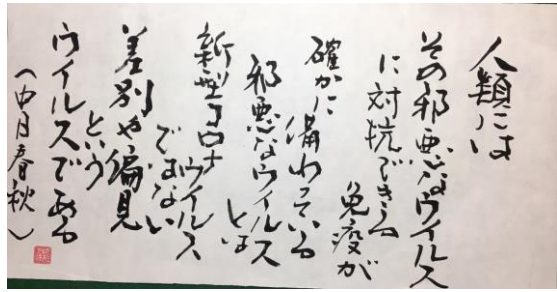
今私は「コロナに負けない存明寺」を目指していきたくないと考えています。それは、コロナに打ち勝つという意味ではなく、コロナを言い訳にはしないという意味です。コロナという時代を生きる中で、様々な制約や息苦しさ、つらさや苦しさはあるけれども、そのような

な中であって、悩んで悩んで悩んで、工夫して工夫して工夫して、生きることを学び続けていく、出会うの場を創っていく。そして、この時代を生き抜いていく。そんなコロナになんか負けない存明寺、そんな場所作りに皆さんのお力を貸してください。今日はお会いできて本当にうれしいです。いつか必ず生でお会いしましょう!

【当日の参加者】
オンライン 26名
生参加 11名
合計 37名

(いつもより多いのです)

★私を照らすひかりの言葉



亡き前坊守の写真とともに今を語る現坊守

お寺のひろば 2020

手探りの状態が続いています。詳しくは存明寺ホームページトップの「お寺からのお知らせ」にてご案内をいたします。

9月22日(火) 11時のみ 短縮開催

9月26日(土) 14時 グリーフ 規模縮小

10月10日(土) 14時 樹心の会 オンライン

10月24日(土) 10時 おみがき 中止

11月2日(月) 14時 報恩講の夕べ 中止

11月3日(火) 12時 報恩講法要

講師・田中顕昭師(長崎県)

規模を縮小し、存明寺本堂にて長崎からオンライン生法話(田中先生)を計画中です。

11月14日(土) 14時 樹心の会 オンライン

11月28日(土) 11時 帰敬式

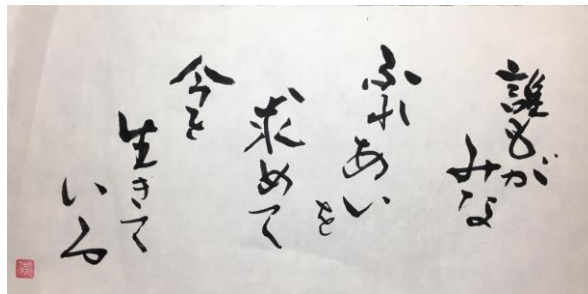
※内容日程を変更しつつ、必ず実施します。

12月12日(土) 14時 樹心の会 オンライン

12月19日(土) 14時 グリーフ 規模縮小

1月1日(元旦) 10時 修正会 未定

子ども食堂・子育てサロン・子ども会も状況を見て判断いたします。



【参加者の声】

▼コロナがなければ足を踏み入れなかったであろうオンライン生法話。ご参加された皆さんから届いた声をここにご紹介いたします。

▼「とても有意義なオンライン開催でした。皆さんお元気そうだなによりです。内容・進行とも素晴らしい、準備された皆様、本当に疲れ様でした。毎回リモートばかりでは寂しいので、生参加もしたいと思いました。またの機会を楽しみにしています。」(くまさん)

▼「本日は、楽しいひとときでした。大成功です!!カメラを数台設置されたとのこと、和やかな会場のご様子も臨場感たっぷり、楽しく参加させていただきました。これも周到な準備のたまものと感謝しています。親鸞に出会ったお寺の存明寺、出会えたご縁に感謝しています。」(きたさん)

▼「本日はオンラインでの樹心の会のご成功、おめでとうございました。ご紹介頂いた四つのお話は、それぞれが心に響き教えられました。」(そのさん)

▼「初のオンライン樹心の会、ありがとうございました、また準備がとうございました、また準備

備お疲れ様でした。多くの参加者で皆さんの笑顔が何より嬉しく感じました!札幌の谷さんご夫妻ともリアルタイムで繋がる技はIT技術の恩恵ですね。住職からのペーパーを駆使しての法話はいつもながら伝える力があり、有り難く思っています。」(たかさん)

▼「オンライン(Zoom)樹心の会、お疲れさまでした。入念に準備されていることが伝わってきました。何よりお寺にいるような感じがしていました。パソコン等の画面で同じ時間を共有することもありですね。」(うきさん)

▼「・・・ということで初めてのオンライン法話会、まずまず順調な滑り出しです。やはりはじめてみると、いろいろなアイデアが浮かんでくるものです。これからそれを形にしていきます。どうぞご期待ください。負けないぞっ!! コロナには。(住職・釋諦信)

東京都世田谷区北鳥山4-15-1
真宗大谷派 存明寺
住職 酒井義一(釋諦信)
〒157-0061 TEL 03-3300-5057
FAX 03-3300-5880
E-mail: sakai@zomyoji.jp